

[資料1]

「基礎力セルフチェック票」に記載された 24 項目の社会人基礎力について

- 1.「親しみ易さ」: 話しかけ易い雰囲気をつくる
- 2.「気配り」: 相手の立場に立って思いやる
- 3.「対人興味/共感・受容」: 人に興味を持つ/相手の話に関心を受けとめる
- 4.「多様性理解」: 多様な価値観を受け入れる
- 5.「役割理解/連携行動」: 自分や周囲の役割を理解する/互いに連携・協力して物事を行う
- 6.「情報共有」: 一緒に物事を進める人達と情報を共有する
- 7.「相互支援」: 互いに力を貸して助け合う
- 8.「話し合う」: どんな相手に対しても、相手に合わせて自分の考えを述べる事ができる
- 9.「意見を主張する」: 集団の中で自分の意見を主張する
- 10.「建設的・創造的な討議」: 議論の活発化や発展のために自ら集団に働きかける
- 11.「セルフアウェアネス」: 自分の感情や気持ちを認識し、客観的に自分の言動をコントロールする
- 12.「ストレスコーピング」: 欲求や恐怖などの悪い影響を及ぼすストレスを処理する
- 13.「独自性理解」: 他者と自己の違いを認め、自己の強みを認識する
- 14.「自己効力感/楽観的思考」: 自分に自信を持つ/やればできるという予測や確信をもって臨む
- 15.「主体的行動」: 自分の意志や判断において自ら進んで行動する
- 16.「完遂」: 一度決めたこと、やり始めたことはやり切る/粘り強く取組み、やり遂げる
- 17.「情報収集」: 必要に応じて、適切な方法を選択して情報を収集する
- 18.「本質理解」: 事実に基づいて客観的に情報をとらえ、本質的な問題を見極める
- 19.「目標設定」: ゴールイメージを明確にし、目標を立てる
- 20.「シナリオ構築」: 目標の実現に向けた効果的な行動計画、シナリオを描く
- 21.「行動を起こす」: 自ら物事にとりかかる、実行に移す
- 22.「修正・調整」: 状況をみながら、計画や行動を柔軟に変更する
- 23.「遵法性・社会性」: 公序良俗・社会ルールに則って自らの発言や行動を律することができる
- 24.「創造力」: 既存の発想にとらわれず、課題に対して新しい解決方法を考える

[資料2]

「基礎力セルフチェック票」における基礎力の9段階のレベル分けについて

例 「親しみ易さ」の9段階

## セルフチェック

セルフチェック票にて、それぞれの項目で自分に近いものにチェックをいれます。

The image shows a '基礎力セルフチェック票' (Basic Skills Self-Check Sheet) with a callout box for item Q1. The callout box is titled '●人に対して(Q1~Q4)' and lists 9 levels of '親しみ易さ' (Approachability). Level 6 is selected with a circle.

Q1	親しみ易さ:話しかけ易い雰囲気をつくる
<input type="checkbox"/>	1 無愛想な方だ
<input type="checkbox"/>	2 自分から話しかけることは少ないが、相手から話しかけられれば自然に会話することができる
<input type="checkbox"/>	3
<input type="checkbox"/>	4
<input type="checkbox"/>	5 誰とでも笑顔で接することができる
<input checked="" type="checkbox"/>	6
<input type="checkbox"/>	7 誰とでも気軽に笑顔で会話することができる
<input type="checkbox"/>	8
<input type="checkbox"/>	9 初対面の人達と容易になごやかな関係をつくることができる